

**ロンドン・アクション・プラン（LAP）第10回定期会合『LAP 10 Tokyo』の開催**

平成26年10月7日(火)～9日(木) 於:京王プラザホテル(新宿区)

**ロンドン・アクション・プランの概要**

- ロンドン・アクション・プラン(LAP)は、2004年11月、ロンドンにおいて開催された「スパム対策執行に関するワークショップ(米連邦取引委員会(FTC)と英国公正取引庁(OFT)が共催)」に参加した15カ国19機関が迷惑メール対策機関同士の情報交換等を行うことで合意し、定期会合の開催等を通じ連携を図っているマルチ会合。
- スпам法執行機関相互の意思疎通や協調、官民対話の促進を目的とし、28か国46の行政機関、12か国28の民間機関、4か国5のオブザーバが参加。
- 2005年以降、年1回程度の定期会合が持たれている。

**メンバー国**

(政府機関が加盟している28か国)

オーストラリア	ベルギー	ブラジル	カナダ	チリ
中国	キュラソー	デンマーク	フィンランド	ハンガリー
アイルランド	日本	ラトビア	リトアニア	マレーシア
メキシコ	ニュージーランド	ナイジェリア	ノルウェイ	ポルトガル
韓国	スペイン	スウェーデン	スイス	台湾
オランダ	英国	米国		

**これまでの開催地**

(注:その他、フランス、ドイツ、ロシアは民間機関のみ加盟)

第1回	2005年10月	ロンドン	第2回	2006年11月	ブリュッセル	第3回	2007年10月	ワシントン
第4回	2008年10月	ウィースバーデン	第5回	2009年10月	リスボン	第6回	2010年10月	メルボルン
第7回	2011年10月	パリ	第8回	2012年10月	ロンドン	第9回	2013年10月	モントリオール

**事務局**

米国(連邦取引委員会)、カナダ(産業省)、英国(公正取引庁)、日本(総務省)

# 『LAP 10 Tokyo』会合及び関連イベントの構成・意義

## LAP定期会合

- 日時 : 平成26年10月7日(火)～9日(木)の3日間
- 会場 : 京王プラザホテル(新宿区)
- 参加者 : LAP加盟の約20か国の法執行機関等から50名程度の参加を想定
- 東京会合の意義・狙い:
  - ① 10回目を迎えるLAP会合をアジアで初めて主催。世界の主要なスパム発信地域とされるアジアの各国をLAPの取組に招致
  - ② 新たなスマホ環境下における日本の先進的な取組を世界に紹介
  - ③ 2020年東京五輪開催時の安心・安全なネット環境づくりの端緒とするものとし、会合の成果は、諸外国のスパムメール対策法制度やプロジェクトを共有するための『Anti-spam Index』をもって総合的に世界に提示する。

## エキシビション(隣接展示会)

- 定期会合会議室の隣室において、我が国におけるネットの安心・安全に向けた取組を紹介するエキシビションを設定(デモンストレーション・資料展示)

## サイドイベント

- 10月8日(水)・9日(木)の2日間、同一ホテル内の会場において『迷惑メール対策カンファレンス』(主催: インターネット協会(IAJapan))を併催し、LAP 10 Tokyo会合と相まってスパム・フリー・ウィークをアピール
- 内外の有識者による講演等を実施

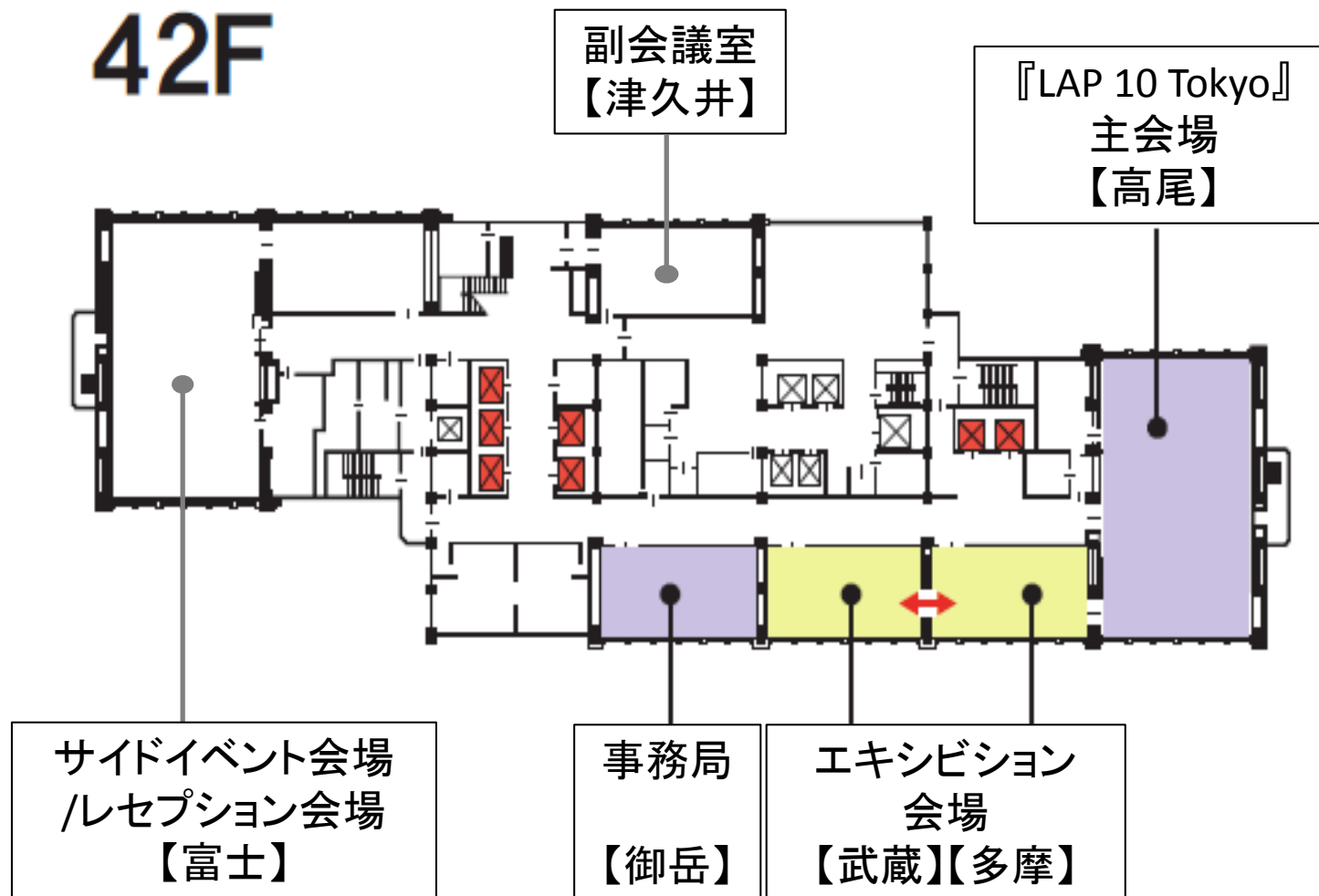
# LAP 10 Tokyo アジェンダ(案)

日時	議事	議長	対応者
10/7(火) AM	○ 開会～事務局からの連絡事項		事務局
	○ オープニング・リマークス		
	○ 基調講演		
	● 参加各国からの現状報告		ニュージーランド、台湾ほか
	● カナダのスパム対策法施行3か月の状況		カナダ
	◆ アンチスパム法執行機関の相互連携	カナダ	米国、カナダ、ニュージーランド、インド他
	● 新メンバーからのプレゼンテーション		香港ほか
10/7(火) PM	◆ SMSスパムへの対応	韓国	韓国、米国、GSMA(携帯通信事業者団体)ほか
	● 官民連携した日本の迷惑メール対策		日本(迷惑メール対策推進協議会)
	◆ ボットネット、マルウェア対策の新たな取組	オランダ	ジョージア工科大、マイクロソフト、トレンドマイクロ
	● 日本のサイバーセキュリティ対策		日本(総務省)
	◆ 新たなデバイスやアプリの不正利用	日本	日本、英国、フェイスブックほか
10/7(火) Eve	○ 歓迎レセプション	日本	
10/8(水) AM	(ボットネット、スパム経済に関する調査)		(大学機関)
	◆ アフィリエイト・マーケティングへの対応	豪州	米国、オーストラリア、オランダほか
	◆ ISOCとLAPの協力	ISOC	ISOC(インターネット・ソサエティ)ほか
10/8(水) ランチM	◆ アジア太平洋地域におけるLAP活動	日本	日本、韓国、台湾、香港ほか
10/8(水) PM	◆ 今後のLAPの活動について	米国	米国、カナダ、英国、日本
	○ 中間サマリー・東京宣言		日本(総務省)
(パラレル) 10/9(木) AM・PM	○ 新メンバー・途上国向けトレーニング	CAUCE	カナダ、CAUCEほか
	◆ Do Not Call ワーキング・グループ	米国	米国、オーストラリアほか
	○ クロージング・リマークス		

●:プレゼンテーション、◆:パネルディスカッション

# 『LAP 10 Tokyo』及び関連イベントの会場イメージ

## 42F



## エキシビション(ブース出展者)

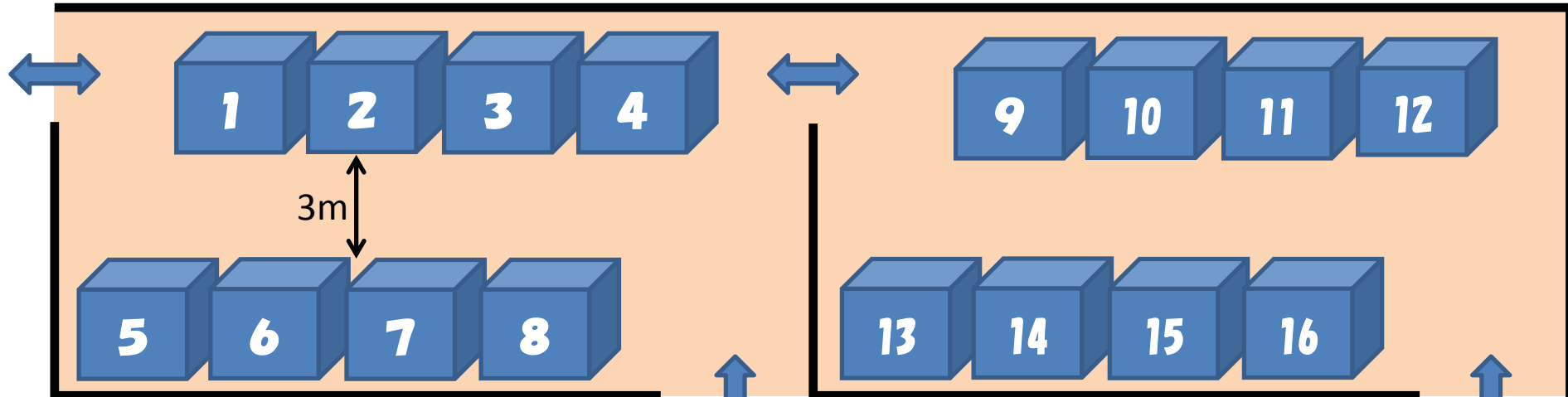
## ブース出展者

(「迷惑メール対策推進協議会構成員出展」は、現時点で出展を希望している構成員について記載)

通番	タイトル	出展者	展示内容
1	ネットの違法・有害情報対策	総務省	プロ責、環境整備法、児ポブロッキングなどの制度・実験
2	迷惑メール対策(法制度、執行)	総務省、消費者庁、警察庁	特電法(執行、検挙)、特商法、デ協・日産協の取組
3	サイバーセキュリティ	総務省セキュ室	セキュリティ政策を紹介
4	サイバーセキュリティ	NICT	NICTERほか最近の取組・実験概要
5 6 7	迷惑メール対策(官民連携)	迷惑メール対策推進協議会	OP25Bの普及状況、送信ドメイン認証技術の導入状況ほか
8	日本の優れた通信環境	KDDI	我が国の移動体・固定通信の優位性を訴求
9	フィッシング対策	フィッシング対策協議会	対策ガイドラインなどの取組を紹介
10	青少年の安心・安全利用	安心ネットづくり促進協議会	青少年向け啓発施策、リテラシー向上施策の紹介
11	スマホの安心・安全利用	SPSC	SPI、プラポリ支援作成ツール、自主ガイドライン
12	Do Not Call	ワイモバイル	迷惑電話チェッカーのデモ
13 14 15 16	迷惑メール対策推進協議会 構成員出展	NTTコミュニケーションズ シマンテック シスコシステムズ インターネットイニシアティブ トレンドマイクロ エクスペリアンジャパン	スパム対策を始めネットのセキュリティに関する役務・製品等の紹介

# エキシビション(ブース構成案)

主会議場へ



- |                       |
|-----------------------|
| 1 ネットの違法・有害情報対策 等     |
| 2 迷惑メール対策(法制度、執行、検挙等) |
| 3・4 サイバーセキュリティ        |

- |               |
|---------------|
| 5・6・7 迷惑メール対策 |
| 8 日本の優れた通信環境  |

廊下側

- |                |
|----------------|
| 9 フィッシング対策     |
| 10 青少年の安心・安全利用 |
| 11 スマホの安心・安全利用 |
| 12 Do Not Call |

- |                                  |
|----------------------------------|
| 13・14・15・16<br>迷惑メール対策推進協議会構成員出展 |
|----------------------------------|

廊下側

1800

# 迷惑メール対策

協議会の取組

これまでの取組  
OP25B、送信ドメイン

ISP、携帯キャリア  
最近の取組

A2

1350  
mm

750  
(最大900)

- 掲示物(背面パネル)
- 展示物(展示台)又は動画放映
- 配布物(展示台)

750